

受付	代表質問 令和 年 月 日	第 号 時 分
----	------------------	------------

一般質問＜代表＞発言通告書

令和6年2月13日

長久手市議会議長 殿

会派名 みらい

長久手市議会議員 野村 弘

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>施政方針について</p> <p>(1) 人件費、扶助費、公債費等の義務的経費が増加する中、令和7年度頃をピークに生産年齢人口は減少が予測され、市税の減収に伴い財政状況は厳しくなる。事業総点検を実施し、事業の統廃合の見直しをすることは必要であるが、同時に新たな財源確保に向けての長期的、継続的な取り組みも必要である。新たな財源確保の見通しはあるか。</p> <p>(2) より良い学びの場の創出に向けて、優秀な講師確保につなげるため、小中学校の非常勤講師の報酬を改定することだが、すべての非常勤講師が対象となるのか。また、一人当たり、どれくらい増額されるのか。</p> <p>(3) ジブリパークの来訪者に向けて、本市の魅力を発信していくため、市内の自然や暮らし・伝統文化などをまとめたPR動画を作成し、モリコロパーク北口案内所や市内公共施設等で公開していくことだが、市外、県外からの来訪者に本市に立ち寄っていただくためには、市外、県外へのPR活動が必要ではないか。</p> <p>(4) スポーツの杜の公有地化や施設の集約化については、平成29年の長久手市スポーツ施設整備等基本構想から検討されているが、なかなか具体化されない。今回、市</p>	

	<p>長が施政方針として打ち出されたことで、今後の進展を期待しているが、スポーツの杜整備検討委託費5,041万3,000円の委託内容と、整備に向けたスケジュールはどのようなか。</p> <p>(5) 高齢者の外出促進につなげるため、新たな移動手段として、デマンド交通の導入に向けた実証実験を行うとのことである。平成30年度から令和元年度に約820万円かけて、ドア・ツー・ドアの新しい移動サービス（定額乗り合いタクシー「N-タク」）の実証実験を行ったが、十分な効果が得られなかったということで、導入は見送られた。事業委託費として902万2,000円の予算措置がされているが、委託内容はどのようなか。</p>	
2	<p>大規模地震への備えについて</p> <p>令和6年1月1日16時10分に石川県能登地方で発生した能登半島地震により、能登地方では建物の崩壊、火災、津波により多くの尊い命が失われ、多くの方が現在も避難生活を強いられている。今回の地震では、土砂崩れや建物の崩壊による道路の寸断などで物資輸送や救助活動が妨げられたことが、被害拡大の一因であるといわれている。また、ライフラインの復旧、避難所の在り方、災害関連死等、様々な課題も改めて浮き彫りになった。本市において、この地震を教訓として、防災計画の見直しや防災力強化、避難所運営等に向けた新たな取り組みはあるか。</p>	
3	<p>休日における中学校の部活動の地域移行について</p> <p>中学校の休日における部活動の地域移行については、令和4年度から部活動検討委員会において検討が重ねられてきた。そして、移行方法については民間事業者に運営を委託し、令和6年9月から移行するという結論に至った。しかし、移行に向けては様々な課題があると考えられる。部活動検討委員会において、どのような課題が挙げられているのか。また、移行まであまり期間がない中で心配であるが、課題は解決できるのか。</p>	